

当会会員の三菱電機(株)北海道支社（札幌市）が、
平成29年9月22日(金)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

三菱電、北海道で攻勢

寒冷地仕様エアコン拡販

【札幌】三菱電機は北海道内で寒冷地向けルームエアコン「ズバ暖霧ヶ峰」の販売を強化する。改良した「FDシリーズ」など新商品を22日に発売するほか、道内ユーザーが出演するテレビコマーシャル（CM）を12月まで展開する。札幌市内で体感イベントも開催。これらを通じて快適さを広くアピールし、北海道でのエアコン販売台数を「前年比1割以上増加を目指したい」（同社）考えた。

今回発売するFDシリーズやZDシリーズは手先や足先の細部まで温度変化を測り、独自アルゴリズムで大人や子どもの違いを見極めて送風する。エアコン停止時も室温などから体感温度を調べており、高温・低温状態になるとエアコンが自動で運転を始める「みまもり機能」も搭載した。8月から始めている道内のテレビCMには、初めて札幌市や北見市、帯広市など道内のズバ暖霧ヶ峰の利用者が出演。暖かさなどを語ってもらうことで、訴求力を高める。ズバ暖霧ヶ峰は外気温がマイナス15度Cの環境でも、最高約60度Cの温風を送ることが可

能。2016年12月に発売したFDシリーズは左右独立駆動するプロペラファンを採用するなど構造を変え、異なる温度の気流を送ることができるとしている。